

# 滝川グループ 2011 年度環境報告書

滝川工業株式会社  
株式会社 滝川製作所  
滝川メンテナンス株式会社  
株式会社 神川鉄工所

滝川グループでは、1998年11月にISO14001「環境マネジメントシステム」の認証取得をして以来、下記に示します「社長の経営理念」に基づいて、全従業員とともに地球の環境保全に取り組んできました。

そして、1999年における環境保全活動の実績を第1回目の報告書としてまとめ、みなさま方に公開して参りました。

今回は13回目として、滝川グループの各事業所および各サイトにおける2011年度(1~12月)の活動の実績を基に作成いたしました。

ここでは、各サイトの環境保全への基本姿勢と2011年度における成果、そして、特に重点的に取り組んできたテーマを選び報告書としてまとめております。

## 経営理念

当社は、当社が製造する一般産業機械、製造装置および関連設備、食品加工設備および機械部品の加工・組立、ならびにお客様の施設の保守・点検作業などに対し、次のことを確実にするためにISO14001に基づく「環境マネジメントシステム(EMS)」を確立し、維持する。

子孫に美しい地球を残すために、エネルギー・資源消費の削減とリサイクル、廃棄物の減量化ならびに環境汚染の防止、製品の品質改善の実行を通して、地域・地球環境の保全を目指す。

滝川グループ代表 滝川勝吾

## 1. 環境基本方針

滝川グループでは、創業以来培ってきた企業活動と環境との係わり合いを明確にするために、2002年7月に次の統合基本方針を制定しました。環境関連のみ抜粋したものです。

### 基本目標

滝川グループは、各システムに対応する基本目標として下記を定め、全従業員に知らしめると共に、従業員全員により実行し、維持する。

地球環境保全が人類共通の重要課題であることを認識すると共に、企業活動のあらゆる面でEMSの有効性の継続的改善、ならびに各事業所において周辺地域との協調・共生を図るために次の行動を起こす。

- 1) 基本方針ならびに年度目標に基づき、技術的、経済的に可能な範囲で各部門において年度目標を設定し、その進捗度および達成度について定期的（年央および年度末）にレビューする
- 2) 全従業員に下記項目の実施義務の自覚を促すことを確実にするために、従業員の教育・訓練をはじめとする啓発活動を行い、周知徹底を図る  
EMSの理解、環境に対する意識及び資質の向上、ならびに汚染の予防
- 3) 全従業員は、本マニュアルに定める品質、環境、ならびに労働安全衛生に関するマネジメントシステムを理解し、この規定事項に例外なく従う
- 4) 環境に関する法令・規制要求事項、ならびに当社が同意する要求事項を遵守するとともに、本マニュアルならびに各規定に基づきマネジメントの強化・向上に努める
- 5) 私は、業務部長を環境管理責任者として任命し、システム遂行に関する責任と権限を委譲する（権限の詳細は本マニュアル中に規定する）
- 6) マネジメントシステムの適切性を持続するために基本方針をレビューし、毎年1回見直すと共に、外部からの要請があればこれを開示する

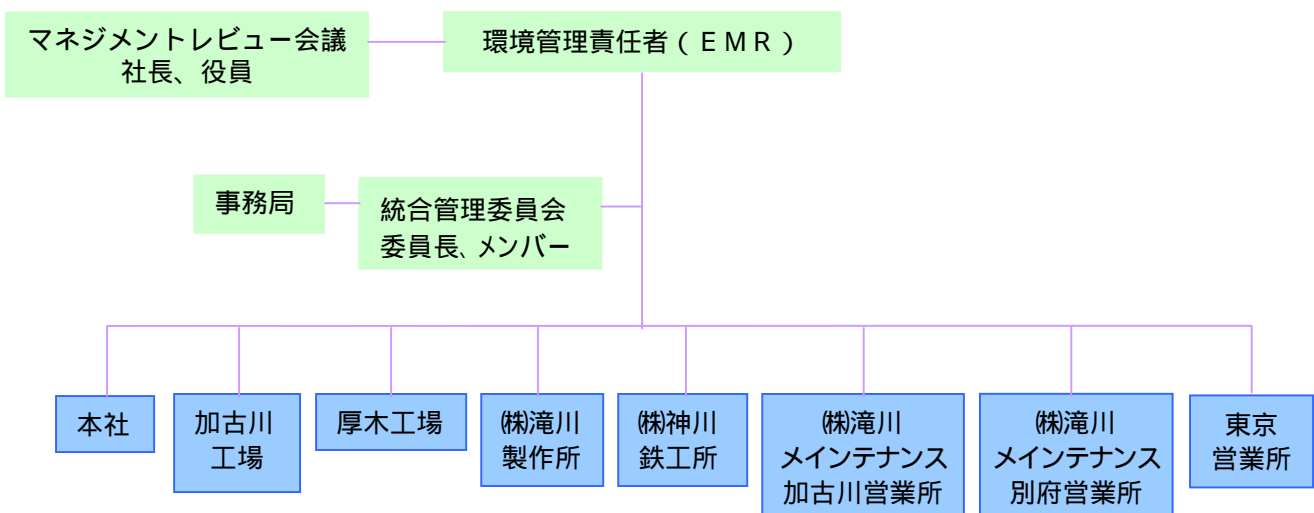
2006年1月31日

滝川グループ代表 滝川工業株式会社 取締役社長  
滝川 勝吾

## 2. 環境マネジメントシステム

### 環境管理組織

当社グループでは、環境対策を企業経営の最重要課題の一つとして位置付け、全社活動として実効の上がるものとするため、環境管理推進組織を構成し環境活動を推進しています。



## ISO14001規格への適応

滝川グループでは環境汚染の予防処置および継続的な環境改善を推進するため、国際規格 ISO14001「環境マネジメントシステム」の構築・運用に取組み、1998年11月にその認証を取得、2001年9月には、認証機関デット・ノルスケ・ベリタス社の品質 (ISO9001)・環境統合認証、2005年9月には、OHSAS18001も含む3規格統合および ISO14001 の2004年度版切替審査、また、2007年7月には、品質・環境・労働安全衛生の統合更新審査により、オランダの認定機関 RvA の統合認証を取得しました。

### 認証証書記載内容より抜粋

- 1) 認証番号 ; 4101-1998-AE-K0B-RvA Rev.1
- 2) 認証事業所 ; 滝川工業(株)本社・東京営業所・加古川工場・厚木工場(株)・(株)滝川製作所  
滝川メンテナンス(株)加古川営業所 / 別府営業所・(株)神川鉄工所
- 3) 適合規格 ; ISO14001 : 2004 = JIS Q 14001 : 2004
- 4) 認証範囲 ; 結束機、鉄鋼精整設備、電子部品搬送装置及び連続食品調理装置 (蒸し機・オープン) ならびに産業機械の設計、開発、製造、据付及びサービス。  
製缶作業、機械部品の機械加工および組立、製造装置のサイト内における保守・点検および修理工事
- 5) 有効期間 ; 2013年09月18日

## 3. 環境に対する取組み 統合スローガンおよび目標

統合スローガン・目標をより具体的にするため、各部門においては、これに合わせて実施する具体的な目標内容を設定し、その達成に向けて様々な活動に取り組んでいます。

### 2012年度 統合スローガン 「不適合の撲滅」

ISO9001の認証取得以来15年目が経過した昨年度、  
「不適合の撲滅」に取り組んだ。

成果は、『真の原因の追究と有効な是正策の策定が行われたこと』  
『契約内容不備・クレーム・誤作・赤字・災害など重大不適合発生要因であった  
「手抜き体質」の改善が完全とはいえないが認められたこと』  
『いくつかの未然防止が有効に機能したこと』  
であり、着実な前進が認められた。

本年度は、更に高いレベルでの再発防止・未然防止を定着させ、  
「不適合の撲滅」という成果を原動力とし、  
厳しい不況を乗り切ることを目指す

### 2012年度 環境目標

1. 6S・3定を推進し、各サイト毎に、更なる美化を目指す。
2. 省エネ・省資源、並びに廃棄物の減量・減容を目指す。

## 2011年度各部門目標実績

部門名	設定項目	結果
総務部	エコ活動	目標達成
	美化活動	目標達成
営業部	美化パトロール実施と6S3定	目標達成
	5R・省エネ・省資源	目標達成

部門名	設定項目	結果
東京営業所	所内の美化パトロール	目標達成
	書類の減量化・減容化推進	目標達成(継続実施)
業務部	6S3定推進による美化向上	目標達成
	5R・省エネ・省資源	目標達成
技術部	環境関連資格者の養成	合格者1名(継続実施)
	事務所内の美化パトロール実施	目標達成
	省エネ製品の改善および開発	目標達成
品質管理部	分別活動および6Sの向上	目標達成
製造部第1工場	6S3定推進による工場内美化と課員のモラルアップ	目標達成
	工場内から発生する騒音影響の低減	目標達成
製造部機械工場	切削油の削減	廃含水油ゼロ達成
	工場内6S・3定の推進	目標達成
製造部組立工場	工場内6S3定の推進	目標達成
厚木工場	工場内6S3定の推進	目標達成
	無駄な電力使用の削減	目標達成
新島工場	工場内6S3定の推進 各ブロック毎の評価・改善	目標達成(改善提案件数は未達)
	社用車の燃費向上と安全運転意識の向上	目標達成
滝川メンテナンス加古川	6S・3定の推進	目標達成
滝川メンテナンス別府	6S・3定の推進	目標達成
神川鉄工所	切削油の削減	目標達成
	工場内外の美化運動	目標達成、継続実施中

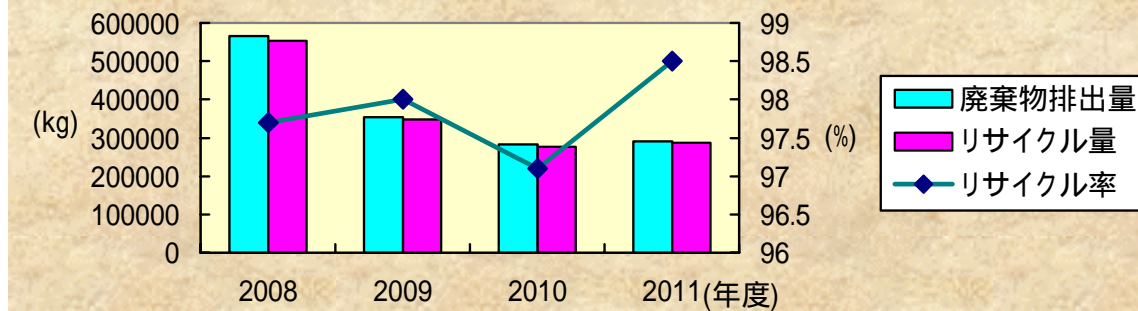
## 環境パフォーマンス実績

### 廃棄物排出実績およびリサイクル率

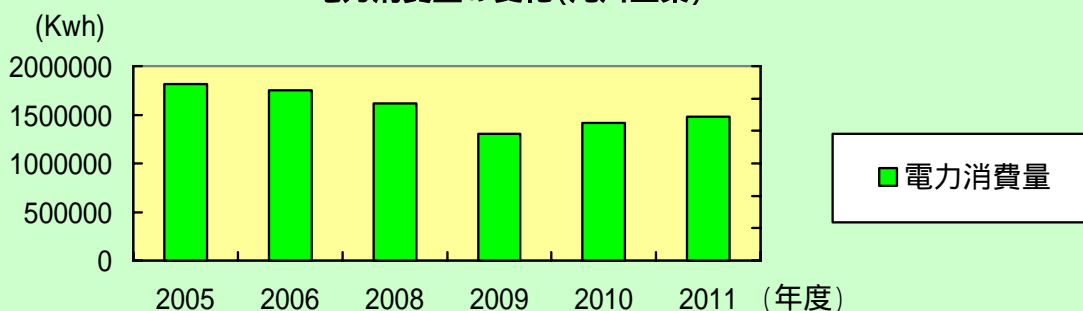
\*上段：2011年度 下段：2010年度

サイト (kg)	加古川 工場	本社	厚木 工場	滝川 製作所	神川 鉄工所	滝川メイン テナンス・加	滝川メイン テナンス・別	東京 営業所	滝川グループ 合計
年間排出量 (総重量 kg/年)	290,709	1,802	14,616	31,467	86,960	133,539	342	313	559,748
	283,727	1,092	16,216	35,314	62,220	156,468	215	493	555,745
無効廃棄量	4,367	0	0	1,325	0	187	0	0.1	5,879
	8,104	2	0	18	226	156	5	0.1	8,511
サーマル リサイクル	12,142	10	2,675	6,339	1,860	408	290	2	23,726
	8,267	11	1,893	3,754	3,514	305	142	2	17,888
マテリアル リサイクル	274,200	1,792	11,941	23,803	85,100	132,944	52	311	530,143
	267,356	1,079	14,323	31,542	58,480	156,007	68	491	529,346
リサイクル率 (%)	98.5	100	100	95.8	100	99.9	100	100	98.9
	97.1	99.8	100	100	99.6	99.9	97.7	100	98.5

## 廃棄物排出量とリサイクル量(加古川工場)



## 電力消費量の変化(滝川工業)



## 教育・訓練の推進

- a . 環境マネジメント教育； 役員対象、管理職対象、従業員対象
  - ・ 環境マネジメントシステム要求事項ならびに実施事項のポイント
  - ・ 現状およびなぜ環境保全活動が必要か
  - ・ 当社の環境マネジメントレベルの変化について
  - ・ 全社方針と目標、ならびに各部目標と個人目標
  
- b . 内部環境監査員研修； 1泊2日間(合宿形式 錦水倶楽部にて)
  - ・ 当社の環境保全活動実績に基づいた1泊2日の合宿形式の研修プログラムを構築し、当社の品質管理部による社内向けおよび社外向けの研修を実施しています。
  - ・ 現在、外部企業の方を含めて249名が終了され、そのうち当社グループ全体で、73名が認定されています。
  
- c . 環境マネジメントシステム研修講師
  - ・ 外部教育機関にて4泊5日のフォーマルコース研修を受けた要員が、4名おり適宜、環境マネジメントシステムの維持向上に、あるいは従業員の環境知識の向上に努力しています。
  
- d . 緊急事態への対応教育
  - ・ 各サイトおよび各部門にて必要な緊急事態を特定し、関係する従業員を対象にして定期的実施訓練をしています。
  - ・ また、全サイトの従業員を対象として火災時の避難訓練も定期的実施しています。

以上